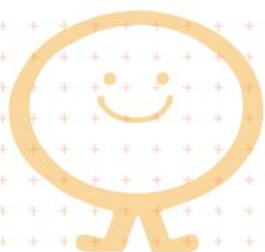


2026 年度

英作文 60

・ 60 問の英作文問題を、9 つの文法単元から考える。



STUDY COLLABO.

ENGLISH



§ 1. 『代名詞の it』

1. 私たちが北海道を訪ねるのは月曜日だ。
2. 車を修理してもらうのに 3 万円かかった。
3. 彼がその仕事をするのに 2 時間かかった。
4. 彼女は毎朝東京の息子に電話することになっていた。
5. 彼は母親が大学の費用を当然払ってくれるものと思っていた。
6. 彼がその試験に合格するかどうかは私にはどうでもいいことだ。

§ 2. 『助動詞』

7. 君の上司がその失敗に怒るのも当然だ。
8. 彼はよく私にタバコをやめるようにと言ったものだ。
9. 彼女は以前ほど健康ではない。
10. 大学の頃もっと一生懸命英語を勉強しておくべきだった。

§ 3. 『不定詞』

11. 彼はゲームに勝つために一生懸命練習した。

12. 彼にそんな態度をとるなんて君は残酷だ。

13. 君がこの問題を処理するのは不可能だ。

14. そのコンサートは今夜開催されます。

15. その生徒は奨学金をもらえるほど賢い。

16. この丸太は彼が持ち上げることができないくらい重い。

17. 正直にもその少年は自分のしたことを私に言った。

18. きっと彼は成功するだろう。

§ 4. 『動名詞』

19. その泥棒は牧師に説得されて仕事を見つけた。

20. 悪天候のため野球をすることができなかった。

21. 私はそんなふうに話しかけられるのに慣れていない。

22. ここでタバコを吸ってもいいですか。

23. 私たちは彼の命令に従わざるを得ない。

24. この本は2度読む価値がある。

25. 戦いはいつまで続くかわからなかった。

§ 5. 『分詞・分詞構文』

26. 甘やかされた子どもを満足させることはできない。

27. 私たちの先生が厳しいと不平をいうのはまちがっている。

28. むこうで凧を飛ばしているのは私の弟です。

29. この随筆はフランス語で書かれているので私には読みにくい。

30. すべてのことを考えると、私たちは負けてよかったと思う。

31. 歩道は落ち葉におおわれていた。

32. 彼女は目を閉じて彼の話聞いた。

33. そのゆで卵をもう一度お湯に入れなさい。

§ 6. 『関係詞』

34. 君が来る日を知らせてください。

35. 彼の言うことにはいくらかの真実がある。

36. 彼は若く、おまけに頭がよい。

37. 彼女はめずらしい植物が生えている島を訪れた。

38. そんなわけで、私はその弁護士に相談したのです。

39. 彼女はいわゆるまめな人だ。

40. これは、昨日買った本です。

§ 7. 『比較』

41. 彼は今年 10 冊しか本を読んでいない。

42. 早ければ早いほどよい。

43. 彼は先生というよりむしろ学者だ。

44. 彼は私ほど太っていない。

45. 今日は涼しいというよりむしろ寒い。

46. 彼は兄に劣らず利口だ。

47. 彼は欠点があるから、なおさら好きだ。

48. 海まで 1 マイルもあります。

§ 8. 『仮定法』

49. もし音楽がないなら世の中は退屈なものとなるだろう。

50. 私があなたの立場なら，その申し出を受けるのに。

51. あなたが手伝ってくれなかったら，宿題を終えられなかったでしょう。

52. もしこの地図がないなら私は道に迷うだろう。

53. たとえ，地球が消えうせようと，私は君を裏切らない。

54. あなたの助けがなかったら，私は失敗していたかもしれない。

55. 電話がなければ，私たちのくらしは不便だろう。

56. 万一失敗したらどうしよう。

§ 9. 『否定』

57. 私は今日になってはじめてその事実を知った。

58. 学校の近くを運転するときはいくら注意してもし過ぎにならない。

59. 我々の銀行は決してつぶれるような銀行ではないと信じています。

60. 私は朝ご飯を食べると必ずコーヒーを飲む。